

科 目	現代の国語	単 位	2 単位	対 象	1 学年 染色デザイン科
使用教科書	現代の国語 (数研出版)	教科担当者	前 城 いく子		
副教材	○新国語便覧（第一学習社） ○セレクト漢字トレーニング（いっずな書店） ○進研 WINSTEP（現代文1）（ベネッセ）				
目 標	【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

1. 学習内容

(1) 読み深める ①論理的文章（論説・評論・記録・報告説明など）
②実用の文章（条例・パンフレット・解説文・企画書など）

(2) 考えを表す ①話し言葉の技術（情報の聞き取り方・説得力のある話し方）
②書き言葉の技術（文章構造の基礎知識・要約・論証など）
③言語技術の実践（レポート・プレゼンテーション・ディベートなど）

2. 学習のポイント

①ことばを通して思考する習慣を身につける。
・教科書や新聞などを読み、内容読解と同時に自ら考える習慣を身につける。

②本をよく読むこと。
・普段の豊かな言語生活や読書生活によって楽しい学習活動ができ、学力が身についてくることを実感する。

③気軽に文章を書いてみること。
・①、②のように、自分で考えたことや読んだこと、聞いたことなどを感想としてまとめ、自分の意見として認識する。また、文章表現を身につけるだけでなく、人間として大切な思索力を身につけることができる。

3. 評価の方法

次の（1）～（5）を、「知識及び技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から、総合的に判断して評価する。

(1) 定期考査、実力テスト、その他の週テスト

(2) 授業の内容を理解しているか、積極的に授業に取り組んでいるか。

(3) 授業のノートやプリントがきちんと整理されているか。

(4) 提出物が期限内にきちんと提出されているか。

(5) 勤怠状況や、日々の授業態度はどうか。